

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第228号 2023年5月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



「豊田市自然観察の森」の子どもたちがやってきました

4月16日(日)に、愛知県の「豊田市自然観察の森」のイベント「もりレンジャー」に参加している子どもたちが桶ヶ谷沼にやってきました。「もりレンジャー」と「おけがや自然塾」は以前から子ども同士がオンラインで活動を紹介したり、自然塾の塾生が豊田市自然観察の森に出かけたりして交流を深めてきました。今回は、絶滅危惧種であり市の昆虫でもある「ベッコウトンボ」をぜひ見てもらいたいと思い、この交流会を開催しました。

参加者は、センターで桶ヶ谷沼やベッコウトンボについての講話を聞いた後、桶ヶ谷沼に出かけ、桶ヶ谷沼を散策したり、初めて見るベッコウトンボに歓声を上げたりしていました。天気にも恵まれ、大変有意義な会になりました。



オッキーくんの講話



こしきづか 飯塚にてベッコウトンボやヤゴの観察



センターの前で記念写真

「雑草という草はない」～牧野富太郎～

2023年4月からスタートしたNHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公 槇野万太郎のモデルは「日本植物分類学の父」と称される牧野富太郎氏です。

牧野氏は幼いころから植物に興味をもち、独学で植物の知識を身に付けました。22歳で上京し現在の東京大学の植物学教室で植物の研究に打ち込みました。94歳で亡くなるまでに収集・作成した標本は40万点以上、新種として発見・命名した植物は1500種類以上と言われています。「大日本植物志」などの刊行に携わったりもしました。植物分類学の基礎を築いた人です。牧野氏の名言には「雑草という草はない」があります。植物を愛していたことが察せられますね。

写真は「オオジシバリ」です。和名では「大地縛り」と書きます。桶ヶ谷沼でもよく見かける植物ですが、名前はあまり知られていませんね。皆さんもこれを機会に植物について調べてみませんか。



オオジシバリ

日当たりがよく、やや湿ったところに生える。

ビジターセンター行事に参加して 桶ヶ谷沼の自然と触れ合ってみませんか

***申し込みは直接電話やファックスでビジターセンターへ**

「蚕を育てよう」	
日時	6月11日（日） 9：30～11：30
場所	桶ヶ谷沼ビジターセンター
対象・募集人数	一般（小学生は保護者同伴、未就学児の参加・見学は不可）・10人 先着順
内容	蚕や養蚕業に関する講義を受けた後、センター内で蚕の観察をします。観察後、数匹を持ち帰ることができます。ぜひご家庭で羽化まで飼育してください。
服装・持ち物	蚕を持ち帰るためのタッパーなどの入れ物、水筒、タオル
備考	夏休み期間中に蚕は繭まで成長します。自由研究のよい題材となるでしょう。

「初夏のトンボ観察会」	
日時	7月9日（日） 13：30～15：30
場所	桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
対象・募集人数	一般（小学生は保護者同伴、未就学児の参加・見学は不可）・20人 先着順
内容	色鮮やかな初夏のトンボを観察します。
服装・持ち物	野外活動ができる服装（長そで・長ズボン）、帽子、水筒、タオル、軍手、長靴、カメラ、虫眼鏡（ある方）、虫取り網・虫かご（ある人）、カップ（少雨の場合）
備考	雨天の場合はセンター内で講話を開催します。

「昆虫標本づくり」	
日時	7月16日（日） 9：30～11：30
場所	桶ヶ谷沼ビジターセンター
対象・募集人数	一般（小学生は保護者同伴、未就学児の参加・見学は不可）・20人 先着順
内容	昆虫採集と標本づくりに関する講義を受けた後、センター内で昆虫の標本を作ります。作った標本は持ち帰ることができます。
服装・持ち物	水筒、タオル
備考	・参加費：220円程度（標本を持ち帰る入れ物等の費用です。当日集金します。） ・標本づくりに使う昆虫はセンターで用意します。薬品などは使いません。

